

ちばしや通信

Vol. 1

法人開設一〇年を 迎えて

今年、特定非営利活動法人ちば地域生活支援舎は、法人設立(二〇〇四年一月一九日)から一〇年を迎えることができました。二〇〇四年八月の設立以来、多くの方からのご支援を頂きながらの一〇年であったと感じております。

改めて皆様に感謝申し上げます。

法人設立後の翌年(二〇〇五年)一月八日(土)、私たちは東金市に初めての事業所を立ち上げることができました。それが、「鶺嶺の家」です。ごく普通の一軒家を借りてのスタートでしたが、その開所式には多くのご来賓の方をお迎えすることができました。

【鶺嶺の家】



私たちは「本人の思いや願いをうけとめ、生きる力を地域で支える」ことを基本理念に掲げ、事業所開設以降、「誰もが住みなれた家や地域で、その人らしく暮らすことができるような支援と地域社会づくり」のための活動

を広げてきました。そのため、最初に開所した鶺嶺の家では、主として高齢者の方の利用を中心としながらも、近隣地域にお住まいの方からの「高齢」に限定しない、様々な相談を受け止めていきました。同時に東金市役所の担当部署はもちろんですが、その他東金市社会福祉協議会、民生委員、近隣の区長(連合町内会長)、居宅介護支援事業所、ボランティア団体等へご挨拶に伺い、さらに情報誌等を通しての情報発信、そして地域住民の方を対象としたサロン活動も併せて行ってきました。このような働きかけを通して、東金の地域には障がいのある子どもたちの放課後の過ごす場が十分でないことがわかってきました。そして

関係する方々の思いを受け、「児童デイサービス」(現在の「放課後等デイサービス」)事業を新たに立ち上げることとなりました。

(“ぼけっと”の様子)



以来過去一〇年間、本当に多くの方からのご理解を頂きながら、ちば地域生活支援舎は今、拠点となる事業所が八カ所に増えました。また、子どもから障がいのある方、そして高齢者の方と、利用される方の層も幅広いものとなりました。

法人設立一〇年というのは、一つの通過点に

過ぎません。誰にとっても住みやすい地域づくりのために、今後とも一層のご支援をお願いいたします。

(代表理事 宮下裕一)

おしらせ

2005年1月の「鶺嶺の家」開所以来、約10年にわたり当法人の事業及び運営を共に担ってきた「増田知子(ますだ ともこ)」さんが、9月末をもって退職しました。増田さんは、独特の明るさや細やかさで、当事者・家族にとても人気でした。また、地域活動や千葉県内の福祉・介護業界活動にも積極的に参加し、当法人の顔(^^)/的な存在でもありました。本当にお疲れ様でした！ありがとうございました！



【各種イベント&活動情報】

きもの地サロン

着なくなった着物をほどこき、アクセサリー、ポーチ、バッグ、タペストリーなどの小物から服まで、その人に合わせてリメイクするサロンです。(初心者歓迎)

◆開催日：毎月第2、第4の月曜日

※近日 11月24日、12月8日、12月22日

参加費・時間等の詳細を知りたい方は、
鶺嶺の家にご連絡ください。電話：50-0285

ヨガサロン

旧道の岸本薬局の斜め向かいにあるありさの2階で開催中。興味のある方は、ありさまで連絡ください。

電話：50-0362

ちば地域生活支援舎 法人開設10周年行事

とき：2015年2月1日
ところ：東金市中央公民館
内容：現在企画中

※12月中に正式に広報します。お楽しみに！

【法人内の各事業所から】

鶺嶺の家（高齢者・障がい者）

高齢の方と障害を持つ成人の方が日中一緒に過ごしています。

過ごし方は様々ですがご希望に添えるよう日々奮闘しています。



鶺嶺の家（児童）

今年3月にオープンし、放課後等デイサービス・児童発達支援事業を実施しています。「ぼけっと」とはまた違った雰囲気があり、現在、2歳～18歳までのお子さんにご利用されています。

利用児童
募集中

火～土営業

9:00～17:00

子ども支援センターぼけっと

放課後デイサービス事業と児童発達支援事業を行っています。毎日10名ほどのお子さんたちとスタッフが賑やかに過ごしています。

365日開所していますので、
相談等お気軽にご連絡ください。



サポートセンタースピリッツ

障害者総合支援法に基づいたご自宅でのサービス（食事介助、排泄介助、家事等）と外出時のサービス（ヘルパーが付き添い、できない部分のサポート）を、資格を持ったヘルパーがマンツーマンで関わることができます。興味がある方はどうぞご連絡ください。

街かど福祉相談室ると

障害福祉に関する相談やサービスを利用するための計画を立てています。福祉のサービスってどんなものがあるの？どこにあるの？使うにはどうしたらいいの？等色々な疑問質問にお答えします。お気軽にお問合せ下さい。

ありさ

東金駅正面、旧道沿いで喫茶・雑貨店を営業しています。利用者は慣れないレジや接客など積極的に取り組んでいます。

また、かばの家のパンの販売、福祉施設での清掃、イベント等での販売なども行っています。

ハンドワーク

ソーイングボックス、エコクラフトの小物入れ、バックをすべて手作りで作っています。また、菓子の詰め合わせを広域斎場の売店で販売、「かばの家」のパンの販売、他イベントでの販売も行っています。

かばの家

パンの製造・販売を行っています。生地はすべて無添加で粉から作っています。利用者は担当のパン作りの他、様々な作業を協力して行っています。パンは、市役所・ふれあいセンターなどで販売しています。

五根の家・グループホーム

認知症になっても、住み慣れた地域・自宅の近くで暮らし続けたい！最期まで、ご家族や地域の人たちとのつながりを持ち続けたい人！を支える住宅付の介護・生活支援サービスです。



五根の家・小規模多機能ホーム

加齢や病気によって支援や介護が必要になっても、最期まで住み慣れた自宅や地域で暮らし続けることを支えるサービスです。登録25名で、現在20名の方を支えています。主に「通い・宿泊・訪問・相談支援等」の支援を行います。

ちばしゃ通信 (Vol1)



発行日：2014年11月19日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630

編集者のつぶやき

- ・11月19日で法人開設10年。いろんなことがあった…でも何とかやってきた。みなさんありがとう!(Jerry)
- ・ちば舎の様子や地域の情報を分かりやすくお伝えできるよう頑張ります。(W)